

全国文学館協議会共同展示

「3・11文学館からのメッセージ・昨日よりも優しくなりたい
-東日本大震災から10年が経過し、詩人は今何を想うのか-」を開催

全国文学館協議会第9回共同展示を開催。東日本大震災の時に福島で被災しながらも、ツイッターで詩を発信し続け、人々の心を打つ言葉の数々が話題となった詩人の和合亮一さん（第27回萩原朔太郎賞受賞作家）の作品を中心に取り上げます。発生から10年目を迎える東日本大震災を風化させず、未来の子どもたちに何を伝えるかを考えるきっかけとなるように、ミニ展示と朗読会、音楽セッションを行います。

- 1 会 期 2021年3月6日（土）～21日（日）
- 2 時 間 9時～17時（入館は16時30分まで）
- 3 会 場 前橋文学館1階エントランス及び視聴覚室（千代田町三丁目12-10）
萩原朔太郎記念館 土蔵（城東町一丁目2-19）
- 4 展示内容 1階エントランス：福島新聞〈ふくしまの10年・詩が生まれるとき〉の記事
震災当時和合さんが撮影した写真付
昨年寄贈していただいた詩の原稿など
視聴覚室：「昨日よりも優しくなりたい」—和合亮一を読む
記念館土蔵：詩の礎の言葉の短冊、詩の紹介、被災地に想いを寄せる場
- 5 関連イベント「被災地から受け取る・朗読&音楽セッション」
 - (1) 日 時 令和3年3月14日（日）14時～15時
 - (2) 会 場 朔太郎記念館敷地（荒天の場合は文学館ホール）
 - (3) 定 員 先着30人、無料（事前申し込みが必要。前橋文学館まで電話で）
 - (4) 出演者 萩原朔美館長、新井隆人さん、芽部
 - (5) 内 容 和合さんをはじめとする福島の詩人からのメッセージや詩の朗読を行う。

本件に関するお問い合わせ先

文化国際課 文学館

電 話 外線 / 027-235-8011